男子決勝

葛飾　65　合　計　43　宮本

16　1　Q　9

21　2　Q　13

18　3　Q　8

10　4　Q　13

［評］平成29年度、冬季大会男子の部決勝戦。両チームともにマンツーマンでスタート。葛飾中⑦佐々木、④神川の高さを生かしたプレーでシュートが決まり、葛飾中がリード。宮本中は⑦藤森の3Pシュート、⑤勝俣の外からのシュートなどで応戦するが、葛飾中⑥齋藤のドライブシュートなどが決まり、葛飾中は着実に得点を重ね、9－16とリードして1Q終了。

2Q、宮本中は⑤勝俣⑦藤森の3Pシュートが決まり点差を縮めようとするが、葛飾中はスピードを生かしたプレイでさらに点を重ねていく。葛飾中⑥齋藤のスティール、⑤後藤の3Pシュートなどが決まり、22－37

20×20

で前半終了。

　後半に入り、葛飾中は体を張ったオフェンスリバウンドからシュートに持ち込む。宮本中も積極的な攻めを見せるが、３０－５５で葛飾中リードのまま３Ｑ終了。

　４Ｑ、宮本中は積極的にボールを奪いにいくが、葛飾中は巧みなパスワークからノーマークをつくって得点を重ね、終盤のメンバーチェンジ後もリズムを崩さず、試合を優位に進めた。４３－６５で葛飾中が勝利した。葛飾中の底力が勝ったゲームだが、果敢に戦った宮本中の粘り強さも印象に残る試合だった。

20 × 20